

東京都国分寺市（国分寺高校東通り周辺地区）

（応募主体：国分寺市）

対象地区の課題

地区内で問題とされる国分寺高校東通りは幅員約 4m の狭隘道路で、通学路にも指定されており、市内を通る南北方向の抜け道として利用されています。平日朝のピーク時には 500 台/時以上の自動車が時速 20km を超過して走行するため、歩行者や自転車利用者にとって、極めて危険な道路となっています。

現況



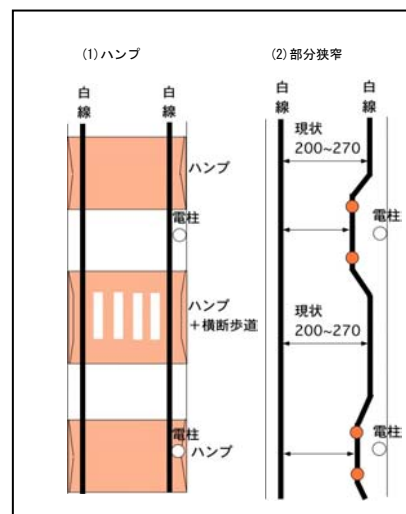
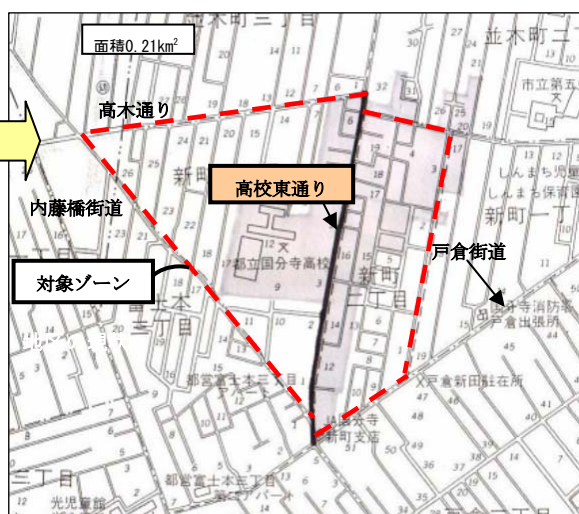
■ 平日朝の高校東通りの渋滞状況



■ 狭い車道を通過車両が時速 20km 以上で走行

整備イメージ

国分寺高校東通りにおいて、ハンプ、狭さく等にて速度抑制を促すとともに、歩道空間の拡大や車線幅の縮小による安全な歩行空間の確保や抜け道利用者への自覚を促すキャンペーンなどを行い、安全かつ安心して歩行できる道を目指します。



車両速度抑制対策例

大阪府藤井寺市（近鉄藤井寺駅周辺地区）

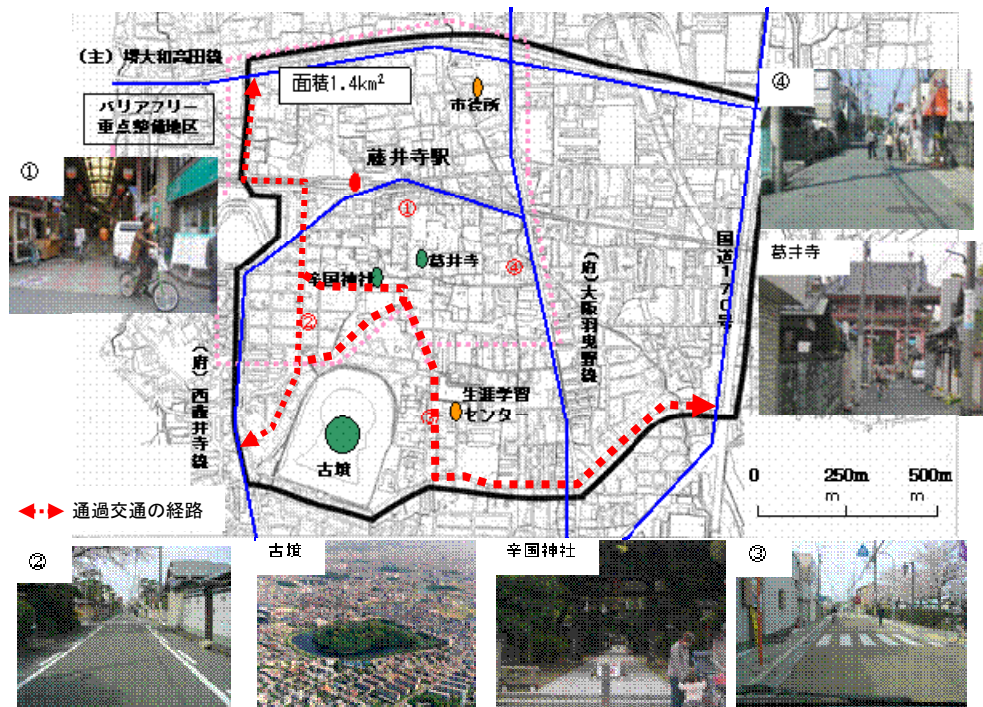
（応募主体：藤井寺市）

対象地区の課題

地区内には市役所、保健所、生涯学習センター等の公共施設が多く、また、葛井寺、辛国神社、古墳等の文化資産があります。また地区内には、近鉄藤井寺駅があり、一日あたり 4 万人弱の乗降客数があります。

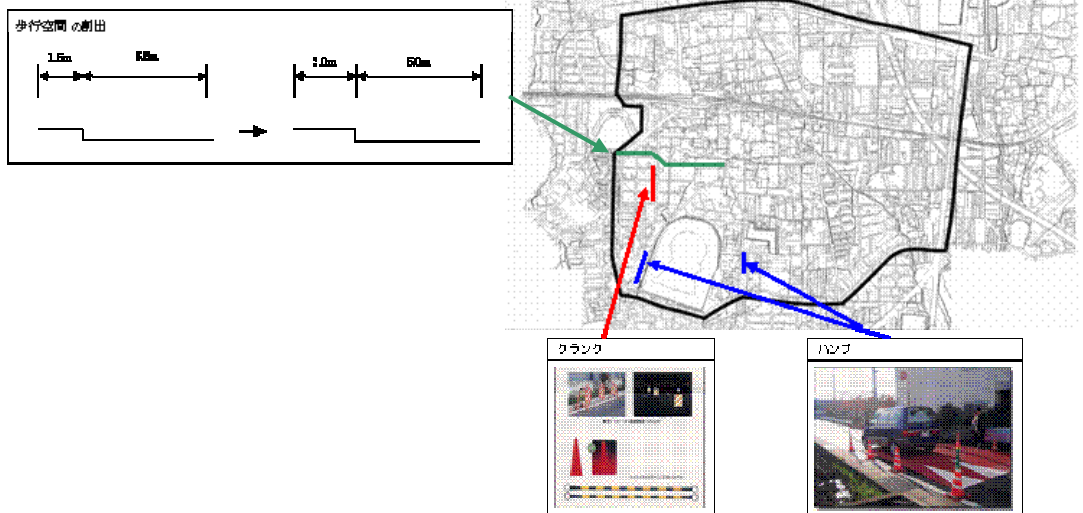
周辺の幹線道路(国道170号、堺大和高田線、西藤井寺線、大阪羽曳野線)の慢性的な渋滞により、住宅地内に通過交通が進入し、交通安全上の危険が増大しています。

現況



整備イメージ

ハンプ、クランクの設置により通過交通の速度抑制を促すとともに、歩道空間の拡大、文化的資産(葛井寺、辛国神社、古墳等)を巡る回廊の整備について検討し、文化的遺産と共存したまちづくりを目指し、住民及び来訪者の安全を図ります。



静岡県伊東市（まつばら くすみ 松原・玖須美周辺地区）

（応募主体：伊東市）

対象地区の課題

伊東市は、伊豆半島でも有数の湯出量を誇る湯治場であり、また年間約 700 万人の観光客が訪れる観光立市です。地区内には、国道 135 号(旧道)と市道南口線の二つの幹線道路が南北方向に縦断しており、通過車両が多く、国道 135 号(旧道)は、歩道幅員も狭く歩行者にとって安全とは言えない状況です。

また、市内観光の回遊ルートの確立や、それに伴う安全施設等の整備が遅れているため、車に気兼ねなく散策できる道路が限られています。

現況



■平成 13 年から伊東市の伊東温泉観光・文化施設となった東海館



■観光客増加により歩行者の安全確保が課題の松川通り

整備イメージ

電線類地中化、一方通行化による歩行空間の確保、ハンプ、狭さくによる自動車の流入・速度の抑制、歩道・車道の石畳化、街路樹及び草花の植栽、歩道照明施設の整備、その他ファニチャー及び修景施設の整備により、昔ながらの温泉場の風景を保存・創出し、住民及び来訪者も親しみのもてる街を目指します。

